

みなさま、こんにちは。いつも応援ありがとうございます！
エコチル調査メールマガジン 第52号をお届けします。

<目次>

1. おしえて！エコチル先生！
～福島ユニットセンター・半澤ハル子さんインタビュー～
2. エコチル調査からのお知らせ

-
1. おしえて！エコチル先生！
～福島ユニットセンター・半澤ハル子さんインタビュー～
-

エコチル調査は、日本全国、実に多くの
医療機関や研究所の方が関わり、調査研究を進めています。
今回はエコチル調査に深く関わってらっしゃる方のお一人、
半澤ハル子さんに、お仕事の内容や体験談などをお伺いしました。

半澤ハル子さんは、2月10日(土)開催の
「第7回エコチル調査シンポジウム」のパネリストとしてご出演されます！

【Q】 エコチル調査に関してどのようなお仕事をされていますか？

福島ユニットセンターのリサーチコーディネーターを
まとめる責任者として勤務し、7年3ヶ月となりました。
エコチル調査については何も知らずゼロからのスタートでしたが、
研修を受講し、資料を読み解きながら、様々な準備を経て、
2011年1月31日に妊婦さんを対象としたリクルートを開始しました。

開始時の対象地域は福島市、南相馬市、双葉郡の市町村でしたが、
3月11日の東日本大震災及び東京電力第一原子力発電所事故により、
2012年10月には全県の妊婦さんが対象となりました。
ユニットセンターの本部事務所は福島県立医科大学に、
拡大地域の事務所は郡山に設置され、
全体調査のリクルート期間の3年間はあっという間でした。

現在はフォローアップ時期に入り、また詳細調査も実施しています。
調査を最後まで継続していただくために、参加者さんの思いを大切にしながら、
イベント時やニューズレターでの情報提供、育児相談などを実施しています。

【Q】 エコチル調査のお仕事の中で貴重な体験談がありましたら、教えてください。

福島しか知らない私にとって、エコチル調査を通じてたくさんの出会いがあったこと。
環境省やコアセンター、15のユニットセンターのスタッフの皆さまとの出会い、
そして、福島全県の市町村や医療機関、参加者さんとの出会いがあったことです。
その出会いの中で体験したことについてお話しさせていただきます。

東日本大震災後、南相馬市、双葉郡の市町村の担当者への
報告をしながら、避難所を訪問しました。
ある避難所で、乳児を抱えているママが、
「私は母乳だから良かった、冷たいおにぎりとお水でも飲んでいけば、
母乳は出るので、泣いても抱っこしていると泣き止むし、この子も私も温かいので」と、
泣きながら話してくれました。
福島市では避難直後は水が出ず、ミルクをつくるのに大変な状況だったのです。

このママの話が私の背中を押し、エコチル調査の対象である妊婦さんや
参加者さんへの産後子育てについて、
些細なことでも一人で悩まないで相談してほしいとアピールし、対応してきました。
この経験は、私にとって大きな学びになりました。

【Q】 エコチル調査の中で特にここが気になる！という項目はありますか？

日本の子どもは諸外国に比べて睡眠時間が短い傾向にあることです。
3歳児の場合、7%が推奨される睡眠時間(10-13時間)以下であり、
22時以降に寝かせている母親が約3割であることについて、気になっています。
(2015年11月20日時点のデータに基づく暫定的な結果より)

その要因として、共働きの家庭においては仕事の関係で帰宅が遅く、
食事や入浴の時間が遅い親が増えていることや、スマホやテレビを見て
寝かせる時間が遅くなっていることなどが考えられます。

睡眠は、子どもの発達と身体の成長に大きく関与しており、
生活習慣にも影響します。
小学校入学前に、睡眠時間が確保できる環境を整えるためにも、
次の3点について参加者さんたちと情報交換する機会を検討していきたいと
思います。

- ①大人中心の夜の時間の使い方について
- ②眠れる環境の確保
- ③メディアとの関わりについて

【Q】 エコチル調査のことをまだ知らない方に、その魅力を一言で伝えるとしたら？

子どもの健康と環境について関連を明らかにするエコチル調査。
化学物質などが子どもの健康に及ぼす影響を調べています。
全国で約10万組の親子が参加している、大規模なプロジェクト調査です。
そして、「未来の子ども達が安心して健やかに成長できる環境を
プレゼントする」という目的の達成を目指して実施しています。

参加児は現在3歳～6歳になり、
今年7歳になる参加児は4月には小学1年生になります。
現在の参加児が13歳になるまで調査は続きます。
エコチル調査の目的を達成するためにも、私たち調査スタッフは
参加者さんの思いを大切にしながら、協力していけるのが魅力だと思います。

半澤さん、ありがとうございました！

2. エコチル調査からのお知らせ

半澤さんも出演する、「第7回エコチル調査シンポジウム」は、
2月10日（土）に開催！
シンポジウムに参加ご希望の方は、下記をご覧のうえ、
ぜひお申込みください。（事前申込み制です）

<http://www.env.go.jp/chemi/ceh/>

申し込み〆切は、2月2日（金）です。
みなさまどうぞお早めにお申込みください！

☆----☆----☆----☆----☆----☆----☆----☆

サポーターの皆さまへのお願い

あなたの身近な人に、エコチル調査をお知らせいただけませんか？
10万組もの方々に参加を続けていただくためには、
ひとりでも多くの人に、エコチル調査を知っていただく
必要があります。
子どもたちのすこやかな未来のために、
ぜひともご協力をお願いします。

☆----☆----☆----☆----☆----☆----☆----☆

○エコチル調査ホームページ

<http://www.env.go.jp/chemi/ceh/index.html>

○メールマガジンのバックナンバーはこちら

<http://www.env.go.jp/chemi/ceh/mailmagazine/backnumber.html>

○メールマガジンの配信停止

下のアドレスへ空メール(タイトル、本文未入力)を送信してください。

ecochildteishi@ecochil.go.jp

○配信先メールアドレスの変更をご希望の方は、
新しいメールアドレスで再度サポーター登録をお願いします。

<https://www.env.go.jp/chemi/ceh/entry/index.html>

発行／編集

環境省 大臣官房 環境保健部 環境安全課 環境リスク評価室
エコチル調査担当

※このメールアドレスは配信専用です。